

7月27日(日)9:30~12:00 受付 9:15

場所: 相模原市民会館 第2中会議室(2階) / サテライト会場: エルおおさか 608号室

「2030年日本初の大阪夢洲カジノ 開業を止めよう！」

**SAY NO
TO THE
CASINO**

～危険な夢洲！公費・税金を被災地支援と住民生活に！

維新政治を終わらせ住民自治の再構築を！～」

- ① IR・カジノ誘致は、国策として進められ住民合意もないまま強行されてきました。日本初のIR・カジノ誘致先は現在関西万博が開催されている埋立地・夢洲。4月からIR本体工事が開始され2030年の開業準備が進められています。
- ② IR・カジノは、建設工事過程からゼネコンなどグローバル資本に莫大な利益をもたらし、開業によってカジノ資本を潤します。「公共工事に準ずる」と公金・税金を投入し、住民福祉の切り捨て、ギャンブル依存症など社会的問題を発症させます。住民生活の破壊と、地域経済の衰退への道を止めなければなりません。
- ③ 国・大阪府・大阪市は、「経済成長」を合言葉にその象徴として「大阪・関西万博」や「夢洲カジノ」を進める一方で、能登半島地震による被災者支援も、住民の福祉向上も切り捨ててきました。「夢洲カジノ」中止の運動は、この国のあり方を問う課題です。
- ④ 多くの市民団体が「カジノ万博」である夢洲での万博開催に反対し、多くの問題点を明らかにしてきました。特に、埋立地である夢洲を巨大集客施設とする危険性である。全国から「万博修学旅行」が推奨され、多くの子どもたちが「万博動員」されていますが、安全対策は取られておらず、命が危機に瀕しています。

万博工事未払い問題も労働者とその家族の生活を奪う重大な問題です。

- ⑤ 分科会では、
 - i) 夢洲万博の危険性・問題点
 - ii) カジノ誘致とギャンブル依存症・オンラインカジノ合法化の動きの問題点
 - iii) 巨大利権と結び、住民生活と自治を破壊した維新府市政の問題点

これらを明らかにし、2030年大阪夢洲カジノ開業を止めるための展望をつくる運動方針を討議します。2027年統一地方選挙へむけ、維新政治を終わらせる府民運動についても討議します。ご参加ください。

◆分科会の内容◆

- ・ 基調報告「夢洲万博、IR・カジノ誘致の問題点と中止を求める運動 今後の方針」
山川よしやす(「夢洲カジノを止める大阪府民の会」事務局長)
- ・ 上映『運の無理強い NoCasinos.org ドキュメンタリー “カジノ産業が地域を蝕むーアメリカで起きたこと”』
- ・ 各地域・個人からの問題提起・運動報告・交流
- ・ 決議(案)討議

万博パピリオン工事未払い問題は放置しながら、MGM大阪(カジノ会社)の言いなりでカジノIR建設工事を強行している維新大阪府市と石破政権。

*7月25日(金)は、夢洲カジノを止める大阪府民の会で
参議院選直後の国会議員への要請行動も行います。

*参加費などリーフレット、HPをご覧ください。
連絡 ZENKO事務局 090-8162-3004(川島)

